

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公開番号】特開2011-90939(P2011-90939A)

【公開日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2009-244470(P2009-244470)

【国際特許分類】

F 21S 2/00 (2006.01)

G 02F 1/1333 (2006.01)

G 02F 1/13357 (2006.01)

F 21Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21S 2/00 4 3 8

F 21S 2/00 4 4 3

G 02F 1/1333

G 02F 1/13357

F 21Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月19日(2012.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源と、

前記光源から入射した光を出射する光学シートと、

前記光学シートを支持するように配置されたリアフレームと、

前記リアフレーム内にあって、前記光学シートを内包する反射シートと、
を備え、

前記反射シートは、切り込み部と折り曲げ部を有する位置決め部を有し、

前記光学シートは、前記位置決め部に対応した形状を有していることを特徴とする面状光源装置。

【請求項2】

前記光学シートの形状は、光の出射方向から見て点対称でもなく線対称でもないことを特徴とする請求項1に記載の面状光源装置。

【請求項3】

前記反射シートは、前記折り曲げ部から延在された接触面が、前記リアフレームの内壁に接していることを特徴とする請求項1に記載の面状光源装置。

【請求項4】

前記反射シートは、前記リアフレームに内包され、隣り合う2辺で構成されるコーナー部を有して箱状に成型され、

前記リアフレームは、前記コーナー部と対応する位置に設けられたコーナー曲げ部と、前記コーナー曲げ部から延在する先端部と、前記先端部と対向する位置に設けられた突合せ部と、を有して、箱状に成型されたことを特徴とする請求項1に記載の面状光源装置。

【請求項5】

請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の面状光源装置を用いたことを特徴とする液晶表示装置。